

Guest speaker ; Mr. David Turri

Title ; Cross-Culture Seminar

UK 生まれで、ニュージーランドやスペインにも滞在し、来日 40 年になる作家で英語教育者であり、日本の会社では人材担当のマネージャーであった Turri さんのお話です。

今回は、敢えて、前回と同じタイトルで講演をお願いいたしました。

ビジネスの現場経験をベースに日本人の英語によるコミュニケーションの問題点を、日本の文化や教育システムという視点からお話いただきました

5 つの問題点がありますが、商談の場で、日本人は何でも書き留めるというのも問題点の一つです。



1. Handshake (握手)

日本ではお辞儀をする習慣があり、名刺を渡すことを優先し、握手をしたがらない。

良い握手をすることはビジネスの現場では極めて重要である。

全米上位 500 社がその総収入に基づきランキングされるフォーチュン 500 の CEO の一人は、同等の能力を持っていれば、良い握手をする人を選ぶと言っています。

良くない握手とは？

アメリカ人；相手の手を強く握りすぎる傾向がある (Bone Crusher)



イギリス人；相手を見下したような横柄な握手（Limp Wrist）
日本人；死んだ魚のような湿った冷たい手での握手（Dead Fish）

自然な握手とは？

- ① 強いアイコンタクト②乾いた手（wipe しておく）
- ③ 親指の付根同士が触れる。④握りしめる（Strong Squeeze）
- ⑤上下に2回動かす（Pump twice） ⑥そしてすぐに離す。

もじもじしたり、泳ぐような目（shifty eyes）は厳禁。
また、大きな声ではっきりと、アイコンタクトを取って話すことが重要である。

私自身は、人の採用の可否は、しゃべる前に50～60%決めていた。
電話での応対、握手、アイコンタクトなどがポイント。

実践！！



2. Hesitancy (躊躇)

スペインで英語を教えた時、彼らは文法など気にせずしゃべる。一方、日本人は、知識はあるのに、自信を持ってしゃべらない。おそらく、文法を大事にして、間違いを恐れる教育システムに欠陥があると感じる。

間違いを恐れずしゃべってみることが大事です。

ここでタリさんがグループ分けした参加者に10個の英単語が書かれた紙を渡し、一人がヒントを与えて紙に書かれた単語を短時間で答える演習実践。

間違いを恐れず、会話を続けるためには非常に大切なことである。

疲れたので一休み・・・(5分間)

2. Hesitancy

“...Every time I ask him a question, it takes him a long time to reply. There's a long, long silence before he says anything.”

“いつも彼らに質問すると、返答にかなりの時間がかかる。彼らが話し始める前はきまって長い、長い、沈黙がある。”



実践！！



3. Show you at Listening (聞いていると相手に分からせる)

例えば

フランス人；ロマンティック
アメリカ人；アグレッシブ
スペイン人；アーティシティック
イギリス人；ジェントルマン
日本人；不可解 (inscrutable)

と譬えられるが、日本人は外国人にとってはまさに何を考えているか分からない存在である。

反応がないとブラックホールに吸い込まれるような感覚になる。

フィードバックが大事。

- ① Nodding (うなづく)
- ② Making noise (あいづち)；silence は欧米の文化にない。
- ③ Echoing (繰り返す)；interest を示す。分かっていることを示す。

ここで、反応がない場合の会話の気まずさを実践で示される。

次に①②③を入れながらの会話をして、その違いを私たちに示された。

事例を三つ

1. Kelvin；日本生活の長かった彼は、すっかり日本人になってしまい、うなづくだけになってしまっていた。
2. 名古屋の秘書；約束事に対して OK や Aha だけで、本当に分かっているのか不安になった。Echo が必要！！
3. King of Echo；過剰な Echo は相手を苛々させる。

皆さんやってみましょう

実践！！

一人が My Passion という話題で話してみましょう。

アイコンタクトと Echo などのフィードバックを意識してみましょう。

3. Show you at Listening

“ミーティングでは、彼らが私の言っていることを本当に理解しているのかどうか分からない。彼らには表情がない。どうやれば彼らが私の言っていることを理解してくれたとわかることができるのだろう。”



4. Keeping a Conversation Going

会話のキャッチボールが殆どない。
インフォメーションの無い会話に
なってしまう。

これも実践してみましょう。
ワイワイガヤガヤと、しっかり盛り上
がりました。

Turri さんが止めても会話が終わらないような状況。

4. Keeping a Conversation Going

"...It's hard to make small talk with him. I ask a question, he gives a short answer and that's all..."

“簡単な世間話（チャット）を彼らとするのは難しい。質問しても、返答が短く、すぐに終わってしまう。”

5. Avoiding Misunderstanding

とにかく聞いて最後に” Once more”
は、相手を疲れさせてしまう。

わからない時は、”Sorry”で止めて
Echo で分からない所を確認する。

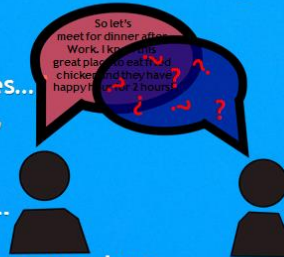
実践！！

Turri さんが電話番号を早く言うのを遮って、確認する。

5. Avoiding Misunderstandings

"...When I'm explaining something to him, he just keeps saying 'Yes...yes...yes...'. But when I finish, he says, 'Once more, please.'..."

“何かを彼らに説明している時、彼らは “Yes (はい) ...Yes (はい) ... Yes (はい) ...” と言い続ける。しかし、話し終わったとき、” Once more, please (もう一度言ってもらえますか?) ” と言って来る。”



皆さんへの助言

Inscrutable

何を考えてるか 分からない人

- Strong handshake
- Don't hesitate. Don't be afraid of making mistakes
- Show you are listening & interested
- No short answers. Give more.
- Throw the ball back
- Use your voice to interrupt when you don't understand

Turri さんからの one point lesson

① I can meet you.

② I can't meet you.

を日本人が発音するときは、聞き取りにくい。

① では meet にアクセントをおいて、 I can **meet** you. のような感じでしゃべると良い。

② では can't にアクセントをおいて、 I **can't** meet you. のような感じでしゃべると良い。